

庁 議 録

招集年月日	令和 7 年 4 月 1 日 (火)							
開会時刻	午前 10 時 00 分	閉会時刻	午前 11 時 05 分					
開催場所	東棟 3 階 庁議室							
出席の状況 (○出席者、代は代理出席)								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	○
4	総務部長	○	5	未来政策部長	○	6	財務部長	○
7	市民生活部長	○	8	健康福祉部長	○	9	産業部長	○
10	建設部長	○	11	教育部長	○	12	こども部長	○
13	議会事務局長	○	14	会計管理者	○			
代理出席者								
職務のため出席した者	伊達総合支所長、梁川総合支所長、保原総合支所長、霊山総合支所長、月舘総合支所長、農業委員会事務局長、行政委員会事務局長、人事課長、秘書広報課長、デジタル変革課長、総合政策課長、財政課長、危機管理担当参事、総務課長							
案件説明のため出席した者								
付 議 事 案 協 議 事 項	<p>1. 開会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 出席者自己紹介</p> <p>4. 議題</p> <p>(1) 庁議について 【総務部】</p> <p>(2) 令和 7 年伊達市議会定例会第 3 回招集会議について 【総務部】</p> <p>(3) 令和 7 年度予算執行方針について 【財務部】</p> <p>5. 報告</p> <p>(1) 伊達市議会常任委員会による所管事務調査にかかる提言について 【総務部】</p> <p>(2) 令和 7 年度行政推進員委嘱状交付式等の開催について 【総務部・未来政策部】</p> <p>(3) 政策調整会議及び政策調整幹事会の開催について 【未来政策部】</p>							

	6. その他 (1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定（4月上旬期） (2) その他 7. 閉会
--	--

会議の経過・結果

1. 開会

2. 市長あいさつ

令和7年度第1回目の庁議となる。この庁議のメンバーで今年1年の伊達市の重要施策等について決定していきたい。庁議内では積極的な発言をしてほしい。庁議と言っても、形式的では良い施策はできないと思うので、疑問に思ったことについては積極的に質問し、意見を出してほしい。

先程、辞令交付式でも話したが、伊達市というのは非常に素晴らしい特徴を持ったまちである。立地条件、農産物、歴史、自然、また施策的にも子育て環境、教育そして健康づくりも他の自治体に負けないものをもっている。そうした中で、これからもっと伊達市を発展させていくためには、職員一人一人の能力を最大限に伸ばす取り組みが必要である。辞令交付式で言ったのは、現場主義とチャレンジと人を活かす組織であれということ。最後の人を活かす組織というのが、管理職の皆さんに一番お願いをしたいこと。前々から仕事は組織でするものと言っているが、組織があれば仕事ができるのではなく、組織に所属する職員がいて初めて仕事が成り立つ。伊達市の職員は非常に優秀な職員が多い。その優秀な能力を最大限に発揮できるような職場環境を作ることが管理職の皆さんの責任だと思う。今は若い人の感覚も取り入れていかななくてはならないという中で、しっかりと相手の話を聞いて、自分の意見を言った上で、部下に仕事を任せるということをしてほしい。ただ、そうすると、色々な失敗もあり、問題も出てくる。その時にいかに早く組織として把握し、対応できるかが重要になってくる。日頃から声をかけたり、話を聞いたり、コミュニケーションをしっかりとることが何よりも重要だと思う。そして、出てきた問題については、すぐに上に挙げていくことが重要。それぞれの組織の中で解決しようとしなくて、どんどん上に挙げていき、判断を仰いでほしいと思う。

最後に、まずは健康。健康であって初めて仕事ができる。自身の健康はもちろんだが、部下の健康にも気を配って、健康でしっかり市のための仕事をしてほしい。

3. 出席者自己紹介

4. 議題

(1) 庁議について

総務部長が資料に基づき説明した。

(2) 令和7年伊達市議会定例会第3回招集会議について

総務部長が資料に基づき説明した。

(3) 令和7年度予算執行方針について

財務部長が資料に基づき説明した。

5. 報告

(1) 伊達市議会常任委員会による所管事務調査にかかる提言について

総務部長が資料に基づき説明した。

(2) 令和7年度行政推進員委嘱状交付式等の開催について

未来政策部長が資料に基づき説明した。

(3) 政策調整会議及び政策調整幹事会の開催について

未来政策部長が資料に基づき説明した。

6. その他

(1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定（4月上半期）

(2) その他

- ・ 総務部長が令和7年春の全国交通安全運動について周知した。
- ・ 保原総合支所長が紅屋峠千本桜まつり、晴れ風 ACTION について周知した。
- ・ 副市長がドローンを活用した事業について周知した。

【副市長より】

市政発展のための施策展開にはチャレンジ精神を持って、果敢に取り組んでいくことが非常に大事で、それが公務員の使命であるとは思いますが、施策展開にはリスクが付き物である。そのために、3つの観点から、事業を進めていってほしい。

市政運営というのは、市長が実行したものについて、議会から質問やアドバイスをうけ、車の両輪のように回っていくのが、理想の姿である。議会に対して、タイムリーに丁寧な説明を尽くす姿勢をもってほしい。

2つ目は、リスク管理の問題だが、間違いは起こるものだという前提に物事を考えてほしい。特に4月～5月は人が変わり、担当も変わり、新たなリスクが発生する可能性がある。仕事をする際は根拠や法令について確認することが大事。また、関連する部局との情報共有も図ってほしい。そして、リスク発生時は、自分で抱え込まないで、速やかに上司に判断を仰ぐこと。最近、ハラスメントなど社会情勢も変わり、組織の中でコミュニケーションが取りづらい場面もあるかと思うが、上司が部下を育てる意識、それぞれの人格を大事にする感覚、優しく見守るといった感覚が必要。人と人との関係が築かれれば、仕事もうまくいく。声かけやミーティングを励行していただき、なるべく小さいうちにリスクを消していくことが必要。

3つ目に、引継ぎを行ってきたと思うが、それぞれの職責に応じで、やらなければならない業務の進行管理が必要。Todo リストを作成し、進捗管理をお願いしたい。そうすることで見逃しが少なくなる。また、仕事の優先順位に気を付けながら仕事をしていくこと。

7. 閉会